

1、以前の自分に戻りたい！シニアファッションショーにチャレンジ

2、名古屋市南区

3、デイサービスきままでんぐ苑

4、作業療法士

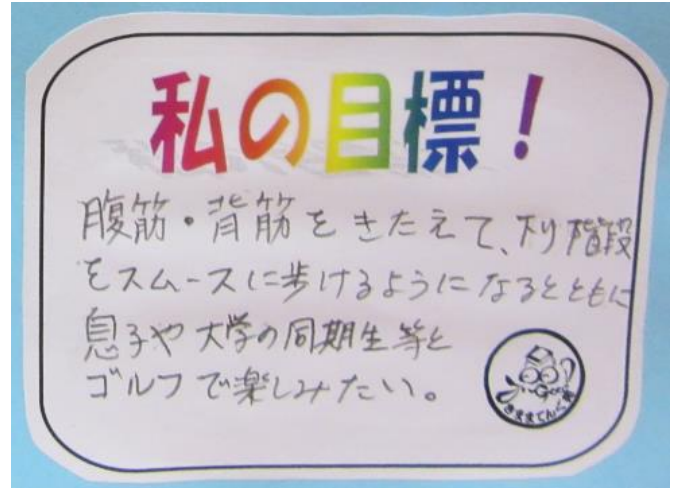
5、大石綾乃

デイサービスきままでんぐ苑は「住み慣れたまち、家でその人らしく豊かな人生を送るための自立支援をする」ことを職場使命とし、ご利用者の「思い」に寄り添い、「目標」をかなえるための生活リハビリ、機能訓練等を行なっています。昨年は、「NHKのど自慢大会に出たい！」という方の思いを叶えるため、愛知県大会に申し込みましたが抽選に漏れたため、今度は東海市の地元ケーブルテレビののど自慢大会に応募しました。デイの時間での練習や体調管理等、しっかり準備をし、当日は他のご利用者で「応援団」を結成した甲斐もあり、見事に「審査員特別賞」をいただくことができました。



現在デイのフロアにはご利用者の「目標ボード」を設置し、ボードいっぱい目標がズラリと並んでいます。「腹筋・背筋を鍛え、階段をスムーズに歩けるようになるとともに、同級生とゴルフに行きたい」「2年後の孫の卒園式に車イスなしで車に乗れるようになる」「娘とずーっと一緒に暮らせるように、マンションの階段をゆっくりでも昇降できるよう、てんぐ苑で毎回立ち上がり練習とマシン運動をやり、足の力をつ

ける」などなど、スタッフと何度も話しあいながらそれぞれの目標を決めました。



そんな利用者さんの一人、天野さんの目標は「以前は着物を着て日本舞踊を踊っていたが、最近足も弱くなり、人前に出て披露する機会を持つことがなくなっていた。そのためにシニアファッションショーに出て、また以前のような自分に少しでも戻りたい」ということ。要介護 1、週 4 回デイをご利用の天野さんは今年で 90 歳になります。天野さんの日本舞踊歴は長く、6 才の頃から稽古をはじめ、名古屋の御園座で発表したご経験もあります。

てんぐ苑でも施設のお祭りなどで毎年日舞を披露していただきましたが、ここ 1 年ほどは 90 歳という年齢もあり、以前のように長い時間踊ることが困難になっていました。そんなところに南区介護事業所連絡会が主催するシニアファッションショー「ミナミコレクション」の出場者募集があることを知り、天野さんにお勧めしてみると「ぜひ参加したい」とのことで、さっそく応募しました。もちろん、着物を着て、ランウェイを歩くだけでなく踊りも披露するためです。

ファッションショーに出ると決まってからは、今まで以上にデイサービスでマシン運動、立ち上がり訓練、歩行練習などにも力が入ります。

10 月 15 日には名古屋モード学園に私も同行し、メイクレッスンとランウェイを歩く練習も行ないました。メイクレッスンではモード学園の学生のレイナちゃんとユリちゃんが担当してくれました。鏡台の前に座ると少し緊張した面持ちの天野さんに、「楽しんでいて下さいね」「笑顔がステキですね」と声をかけてくださるだけでなく、緊張をほぐすために手のマッサージまでしていただきました。途中からはヘアメイクの先生も加わり綿密に打ち合わせをします。「本当にファッションショーに出るんだな」という実感が高まります。メイクレッスンが終わると初めて来たモード学園スパイラルタワーの展望室の見学をし、メイク担当のレイナちゃん、ユリちゃんともすっきり打ち解けました。練習の仕上げは「ランウェイ」でのウォーキングです。「はい、そこで立ち止まってください」「ゆっくりまわってください」「ポーズを決めてください」演出担当から次から次へ指示があります。90 歳の天野さんですがさすが舞台慣れしており堂々たるものです。ランウェイの先端でしっかりポーズを決めると、モード学園の学生さんたちから「カワイイ～」と声があがりました。



帰りの道中では「こんな経験めったにできないからね。皆さんのおかげです」と天野さん。現在は 11 月 12 日の本番に向けてデイサービスでも機能訓練に励む日々です。当日はてんぐ苑から車で 20 分ほどの場所が会場となることもあり、皆で応援に行く予定です。